



[狭山市広報]
VOL.352



「ねずみの図」は、江戸末期から明治前期にかけて活躍した河鍋暁斎(かわなべきょうさい)の作品です。暁斎は柏原村の西浄寺(さいじょうじ)住職と懇意だったところから、明治初期に数年間滞任して多くの作品を残しました。この絵はその中のひとつで、ねずみが「打出の小槌」を作っているところです。擬人化されたねずみが生き生きと描かれているこの作品は、市立博物館で見ることができます。(ほかの作品と交替展示のため、12月から見学可能になります。)

広報 お知らせ版



作品の一部を拡大したもの。

CLIP-1(新しい施設の愛称を募集・お礼・募集).....	2~3
CLIP-2(狭山市産業祭・交通安全フェア・お知らせ).....	4~5
CLIP-3(図書館案内・ご参加を・ご利用を・スポーツ・レクリエーション).....	6~7
CLIP-4(都市緑化植物園・児童館だより).....	8~9
CLIP-5(保育所(園)児・学童保育室児募集・博物館・市民会館・その他のお知らせ)...	10~11
相談案内・保育情報あれこれ.....	12
市民情報(イベント・会員募集).....	13~15

♻️ 再生紙を使用

10/25 2000 October

【今月の表紙】河鍋暁斎(かわなべきょうさい)が描いた「ねずみの図」(市指定文化財)